

平成23年度

棚倉町 長寿命化修繕計画

平成24年3月

福島県 棚倉町

## 目 次

### 【様式 1-1】

|  |   |
|--|---|
| 1. 長寿命化修繕計画の目的                         | 1 |
| 2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁                       | 1 |
| 3. 平成23年度長寿命化修繕計画策定の流れ                 | 2 |
| 4. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針          | 3 |
| 5. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針 | 3 |
| 6. 長寿命化修繕計画による効果                       | 3 |
| 7. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期    | 4 |
| 8. 部材別の修繕・架替え件数及び費用内訳                  | 4 |
| 9. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者   | 5 |

## 1. 長寿命化修繕計画の目的

### 1) 背景

- 棚倉町が管理する道路橋は、平成 24 年 3 月現在 72 橋あり、このうち、建設後 50 年を経過する高齢化橋梁は現在 7 橋だが、10 年後には約 40%に達する。20 年後には、この割合が約 70%に達する見込みで、急速に高齢化橋梁が増大する。
- 棚倉町は、国道 289 号で白河市やいわき市に、国道 118 号で須賀川市、郡山市、常陸大宮市へ繋がっている。通過する近道として、町道を通行する大型車両が多く見られる。また、棚倉町は採石場が多いことから、砕石を運搬する車両の増大に加え、大型車混入率が高いことや設計荷重を超過する交通が損傷の一因となっている。これら損傷が大きい橋梁を優先して修繕する必要がある。
- 今後、高齢化橋梁の増大に伴い、その修繕や架替えに要する費用の集中が予想され、大きな財政負担が懸念される。そのため、可能な限りのコスト縮減と効率的かつ効果的な維持管理への取り組みが不可欠となっている。

### 2) 目的

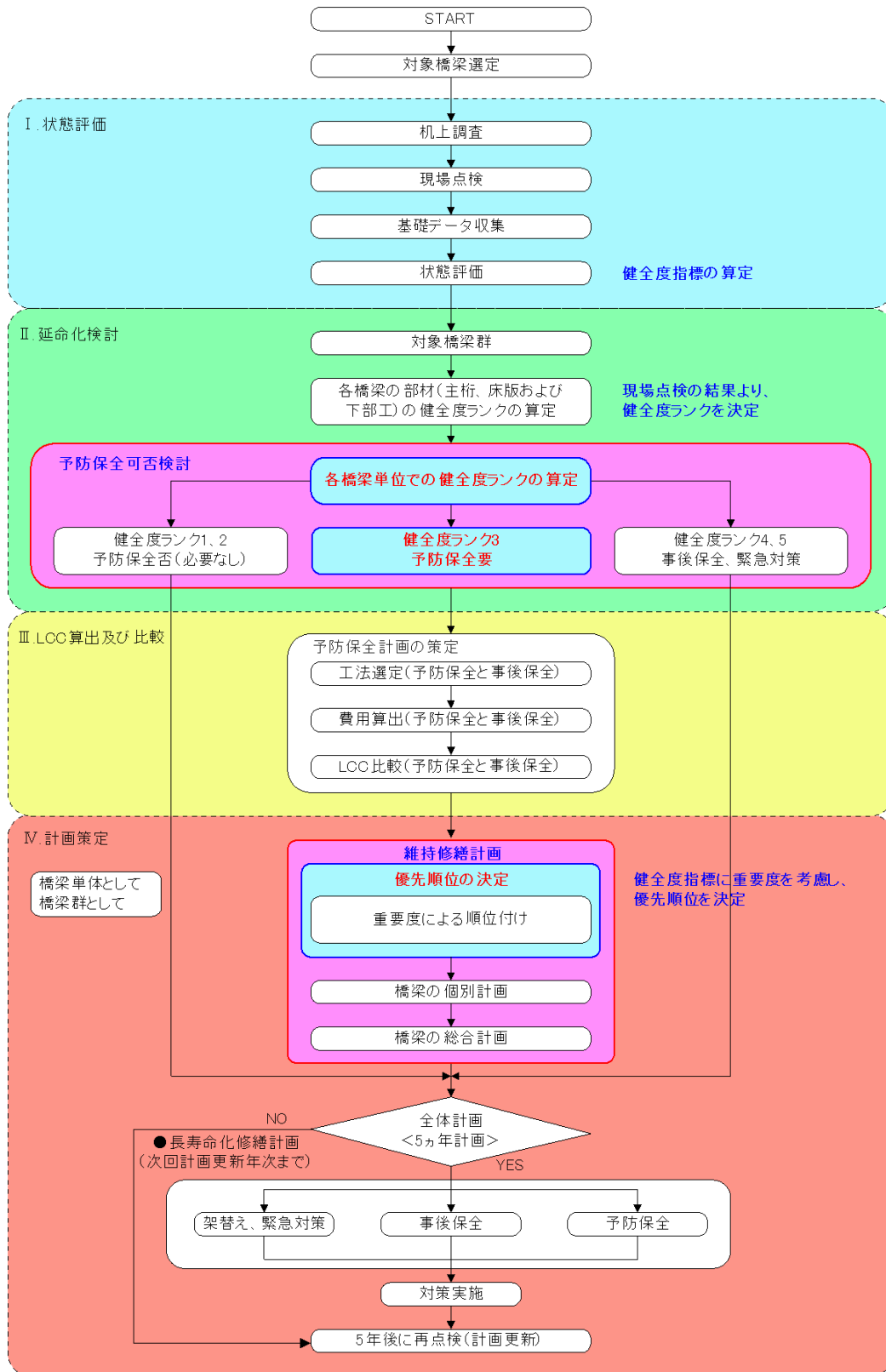
- 道路交通の安全性を確保する上で、道路管理者は、これまでの事後的な対応から計画的かつ、予防的な対応に転換を図り、長寿命化によるコスト縮減を図る。

## 2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

|                | 一級町道      | 二級町道     | その他        | 合計         |
|----------------|-----------|----------|------------|------------|
| 全管理橋梁数         | (9)<br>20 | (2)<br>9 | (21)<br>43 | (32)<br>72 |
| うち計画の対象橋梁数     | (9)<br>20 | (2)<br>9 | (21)<br>43 | (32)<br>72 |
| うちこれまでの計画策定橋梁数 | (0)<br>0  | (0)<br>0 | (0)<br>0   | (0)<br>0   |
| うちH23計画策定橋梁数   | (9)<br>20 | (2)<br>9 | (21)<br>43 | (32)<br>72 |

※上段（ ）は橋長 14.5m以上の車道橋の数

### 3. 平成 23 年度長寿命化修繕計画策定の流れ



#### 4. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

##### 1) 健全度の把握の基本的な方針

健全度の把握については、橋梁の架設年度や立地条件等を十分考慮して実施するとともに、福島県市町村橋梁点検マニュアルに基づいて定期的の実施し、橋梁の損傷を早期に把握する。

##### 2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好な状態に保つため、日常的な維持管理として、パトロール、清掃などの実施を徹底する。

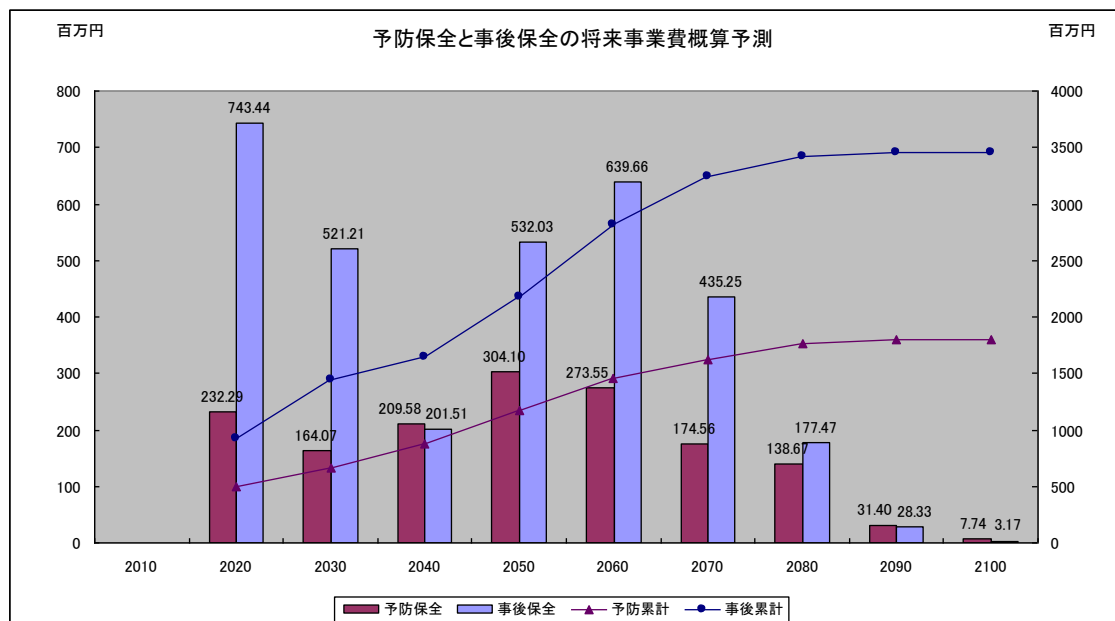
#### 5. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

予防的な修繕等の実施を徹底することにより、修繕・架替えに係る費用の低コスト化を図り、トータルとしてのライフサイクルコストの低減を目指す。

以下は、車道橋 72 橋について、平成 22 年度および平成 23 年度の点検結果を反映した検討結果を示す。

#### 6. 長寿命化修繕計画による効果

○修繕及び架替えに要する経費については、今後 90 年間で 34.57 億円→18.03 億円（16.54 億円の縮減）となり、約 5 割弱の縮減が見込まれる。



※上記経費の算出については、今後、橋梁の定期点検データを蓄積していくことで、さらなる精度向上が図れるため、現在の値に固定化されるものではありません。

## 7. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

### 1) 点検

○今年度計画を策定した 72 橋の次回点検時期は平成 27 年度、以後 5 年ごとに定期点検を継続的に実施する。

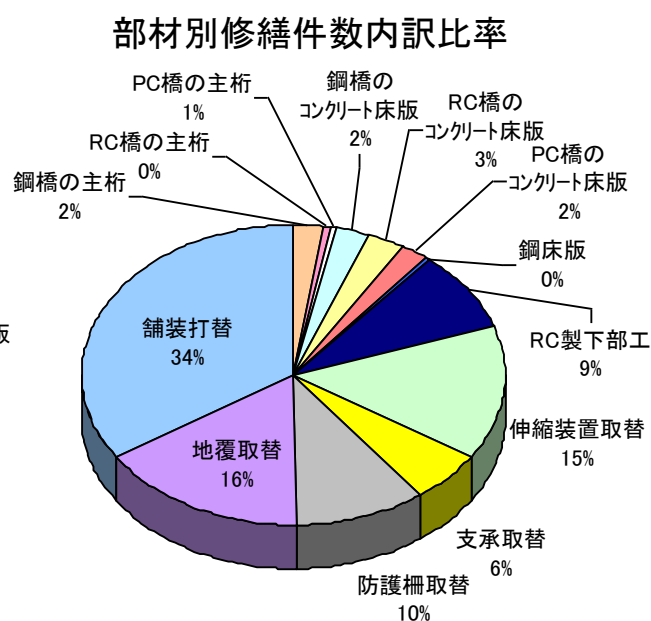
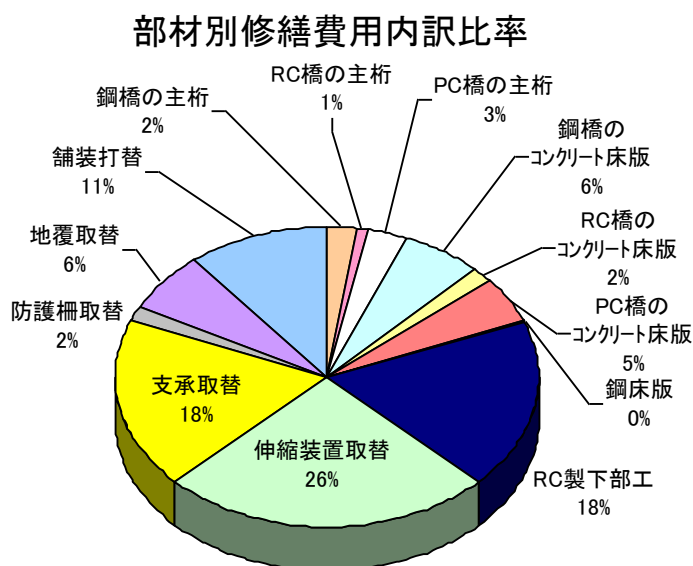
### 2) 修繕又は架替え対策

○今年度計画を策定した 72 橋のうち、今後 10 年間で修繕又は架替え対策を 37 橋で実施する。平成 26 年度については、長寿命化修繕計画の承認を得て予算確保した後、計画に沿って補修工事を実施予定。

※上記の修繕及び架替え対策橋梁数については、今後、定期点検を実施していく過程で確認される損傷に応じて、優先的に補修工事を要する場合などもあり、固定されるものではありません。

## 8. 部材別の修繕・架替え件数及び費用内訳

今年度計画策定橋梁 72 橋のうち、今後 10 年間で修繕又は架替え対策を実施する予定の全ての橋梁を対象に、修繕内容を示した部材別の修繕・架替え件数及び費用内訳比率を示す。



9. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署

福島県東白川郡棚倉町 建設課 道路河川係 tel 0247-33-2114

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

日本大学工学部 教授 岩城 一郎

福島工業高等専門学校 教授 根岸 嘉和

(五十音順)